

2013年度第3四半期 決算説明会

2014年1月31日
株式会社村田製作所



1. 2013年度 第3四半期業績概要

2013年10月～2013年12月

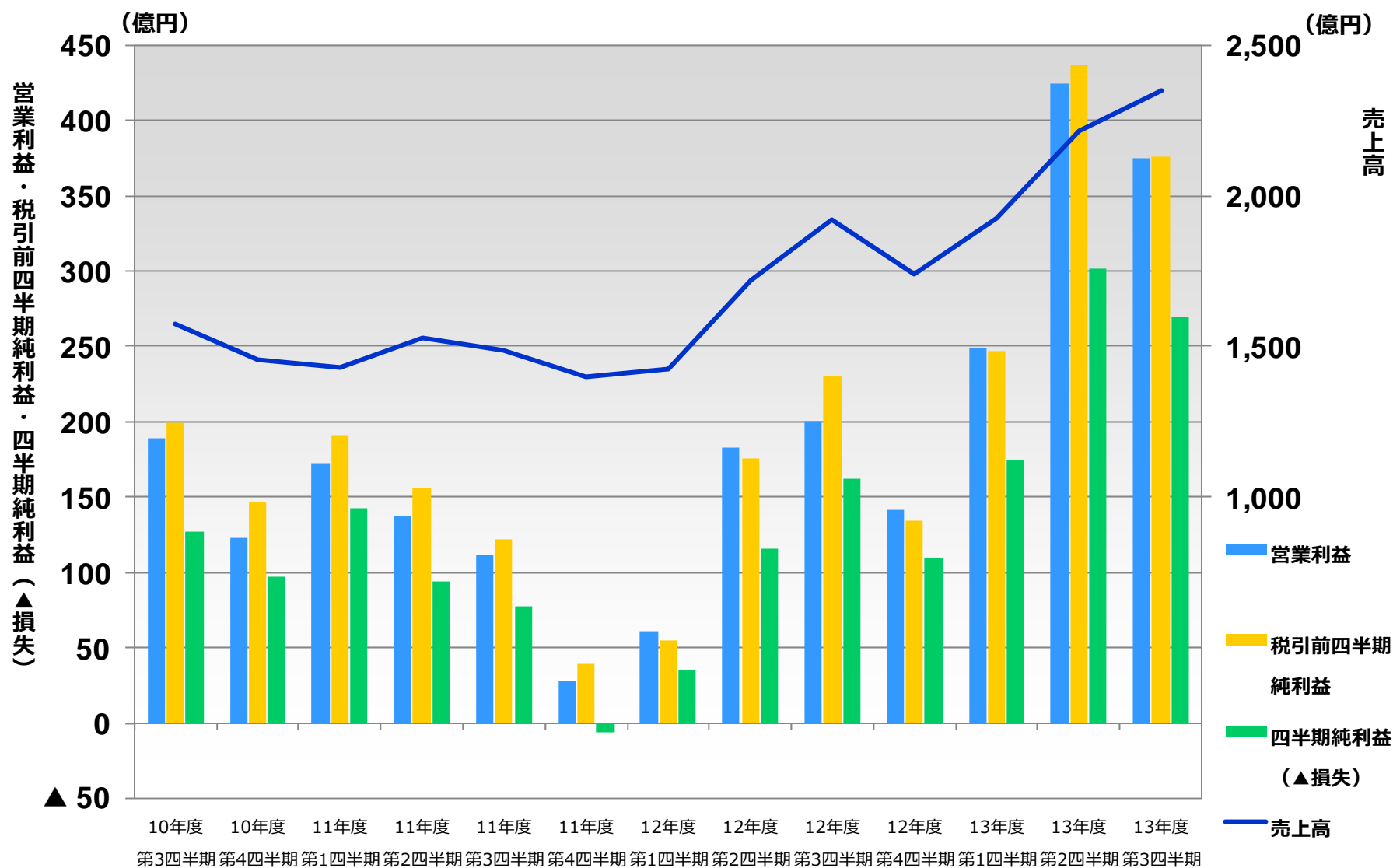
第3四半期連結会計期間

当第3四半期決算のトピックス



- ◆ **当第3四半期の売上高は、3四半期連続で過去最高を記録。**
スマートフォン、タブレットや自動車向けなど幅広い製品で需要が増加
 - ◆ **営業利益は通期業績予想に対して87%の進捗率**
 - ◆ **期末配当金は1株あたり70円と10円の増配を予定**
- ※ 8月1日付で完全子会社化した東京電波株式会社は、3か月遅れ（1四半期ずれ）での連結決算への反映となっています。

業績推移 [四半期]

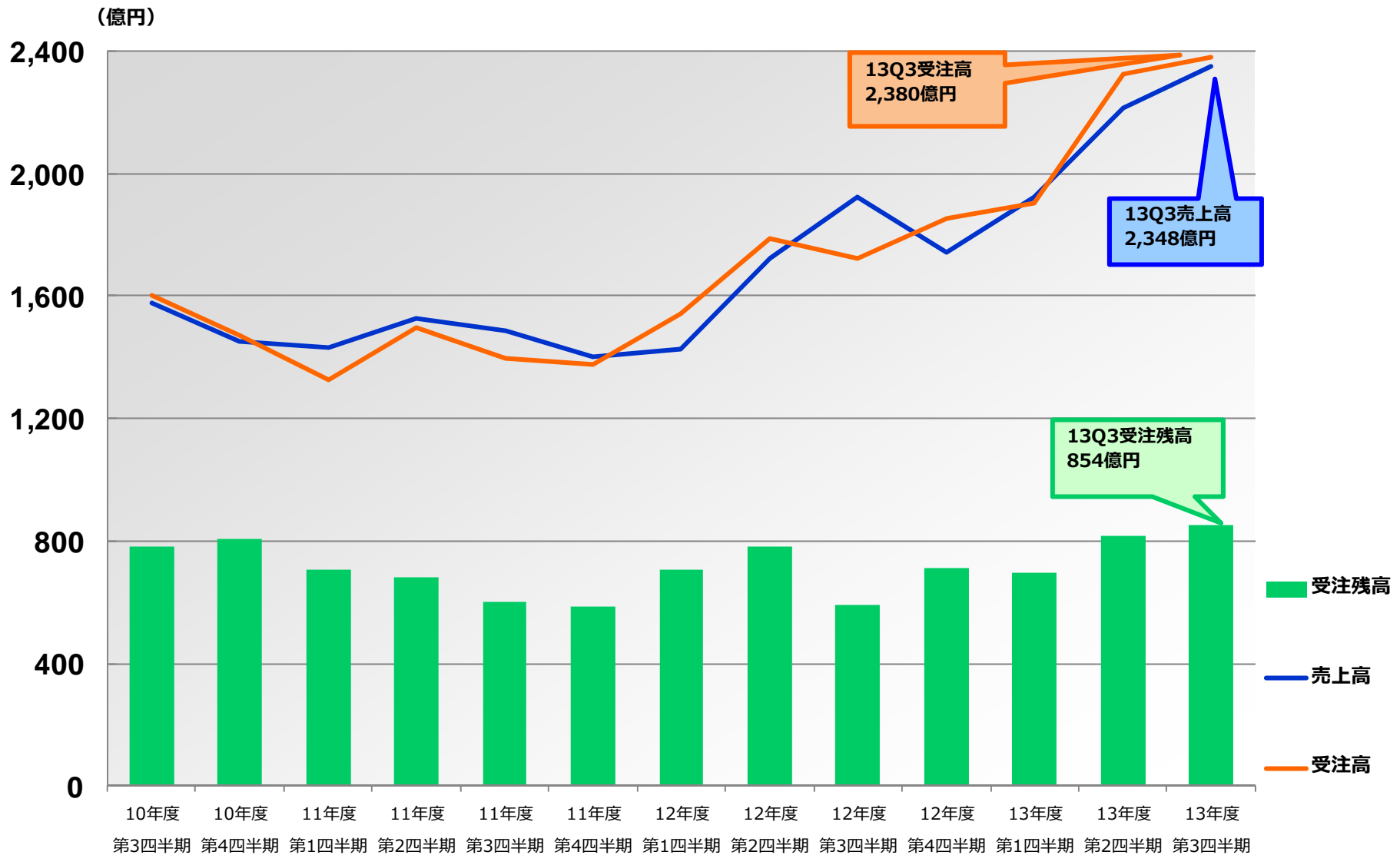


業績概況

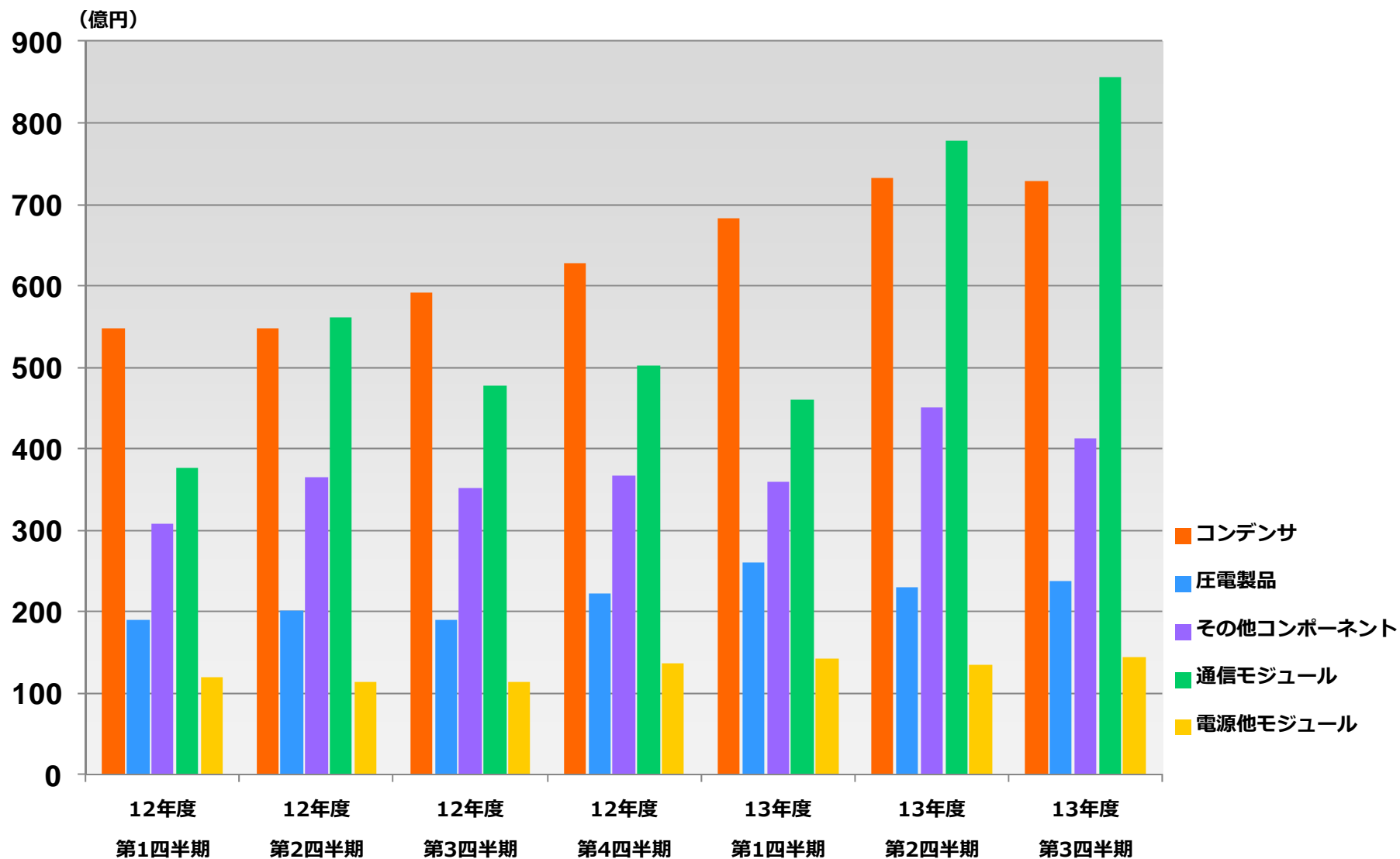


	2012年度		2013年度		2013年度		前年同期比		直近四半期比	
	第3四半期		第2四半期		第3四半期		13Q3/12Q3		13Q3/13Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	1,922	100.0	2,216	100.0	2,348	100.0	+426	+22.2	+133	+6.0
営業利益	201	10.4	425	19.2	375	16.0	+174	+86.8	▲50	▲11.7
税引前当期純利益	231	12.0	437	19.7	376	16.0	+145	+62.9	▲61	▲14.0
当期純利益	163	8.5	302	13.6	270	11.5	+107	+65.9	▲32	▲10.5

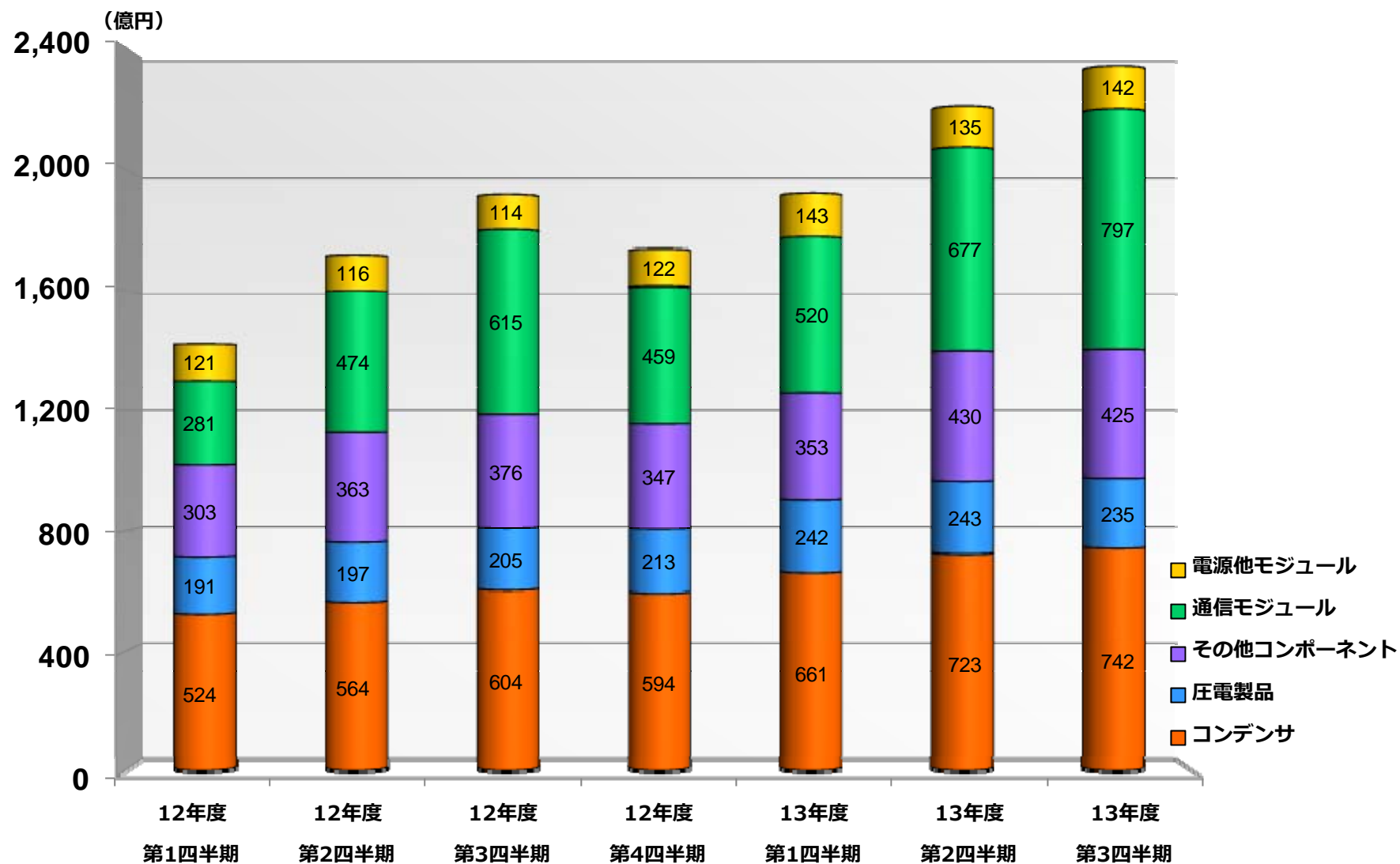
売上・受注・注残推移 [四半期]



製品別受注高推移



製品別売上高推移



製品別売上高



	2012年度		2013年度		2013年度		前年同期比		直近四半期比	
	第3四半期		第2四半期		第3四半期		13Q3/12Q3		13Q3/13Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	604	31.6	723	32.7	742	31.7	+137	+22.7	+18	+2.5
圧電製品	205	10.7	243	11.0	235	10.0	+29	+14.3	▲9	▲3.5
その他コンポーネント	376	19.6	430	19.5	425	18.2	+49	+13.1	▲4	▲1.0
通信モジュール	615	32.1	677	30.7	797	34.0	+182	+29.7	+120	+17.8
電源他モジュール	114	6.0	135	6.1	142	6.1	+28	+24.6	+7	+5.2
製品売上高計	1,915	100.0	2,209	100.0	2,341	100.0	+426	+22.3	+133	+6.0

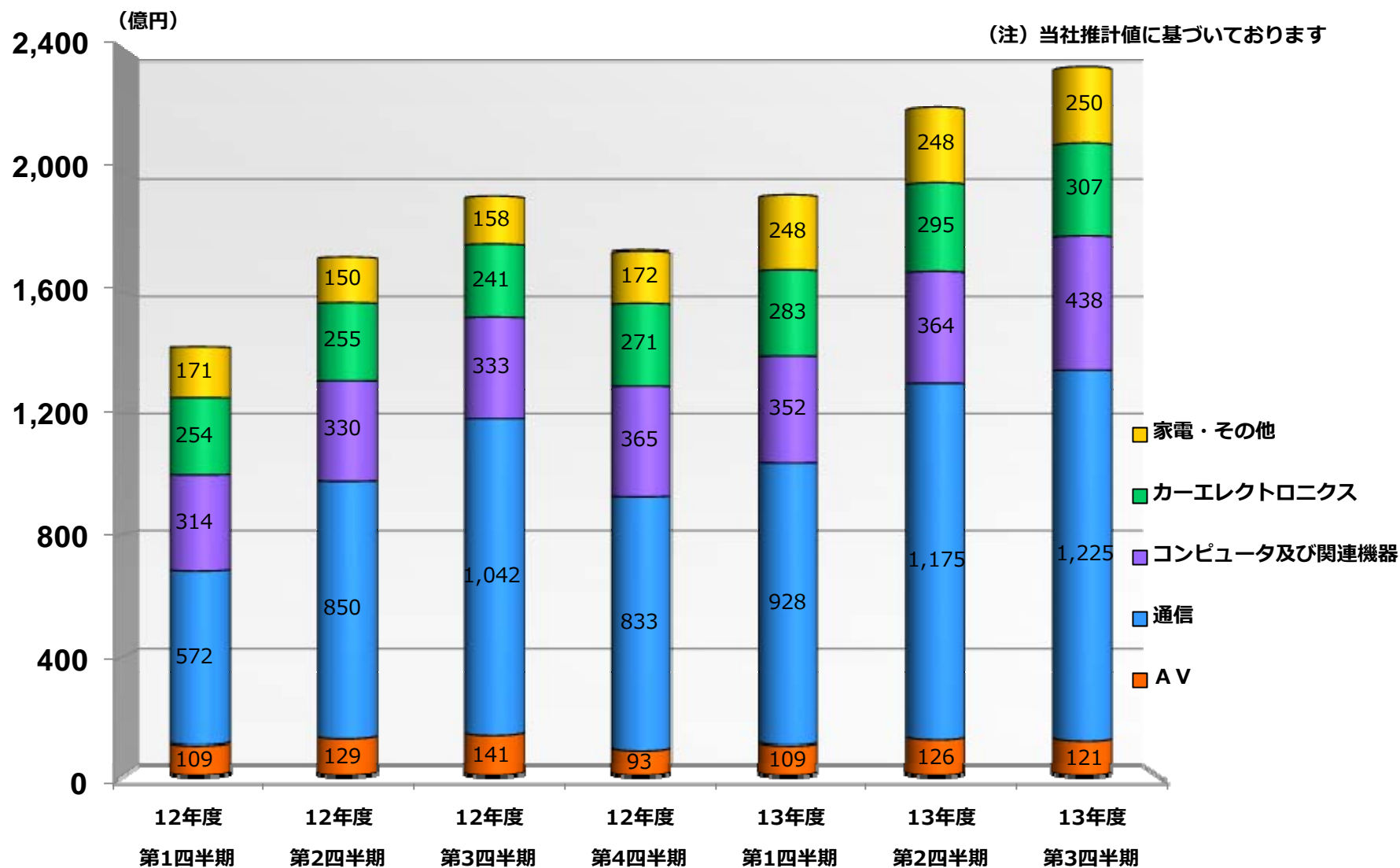
製品別売上高概況

[2013年度第2四半期→2013年度第3四半期]



コンデンサ (直近四半期比+2.5%)	○ チップ積層セラミックコンデンサ (MLCC) AV機器向けが低調も、タブレット端末向けを中心に小型大容量品が伸長したほか、カーエレクトロニクス向けも好調
圧電商品 (直近四半期比▲3.5%)	▲ 表面波フィルタ 需給逼迫が一服したことにより減少 ○ 発振子 水晶発振子が東京電波の子会社化により大幅に増加
その他コンポーネント (直近四半期比▲1.0%)	▲ コネクタ タブレット端末向けは好調も、スマートフォン向けが減少 ▲ EMI除去フィルタ AV機器、家電・その他向けが低調
通信モジュール (直近四半期比+17.8%)	○ 近距離無線通信モジュール スマートフォン、タブレット端末向けで大幅に伸長 ○ 通信機器用モジュール 新製品の投入効果もあり、スマートフォン、タブレット端末向けで非常に好調
電源他モジュール (直近四半期比+5.2%)	○ 電源 アミューズメント向け、コピー機向けが増加 ○ LTCC基板 カーエレクトロニクス向けで大きく増加

用途別売上高推移



用途別売上高



	2012年度		2013年度		2013年度		前年同期比		直近四半期比	
	第3四半期		第2四半期		第3四半期		13Q3/12Q3		13Q3/13Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
AV	141	7.3	126	5.7	121	5.2	▲19	▲13.7	▲5	▲4.0
通信	1,042	54.4	1,175	53.2	1,225	52.3	+182	+17.5	+50	+4.2
コンピュータ及び関連機器	333	17.4	364	16.5	438	18.7	+105	+31.7	+74	+20.3
カーエレクトロニクス	241	12.6	295	13.4	307	13.1	+66	+27.4	+12	+4.0
家電・その他	158	8.3	248	11.2	250	10.7	+92	+58.1	+2	+0.9
製品売上高計	1,915	100.0	2,209	100.0	2,341	100.0	+426	+22.3	+133	+6.0

(注) 当社推計値に基づいております

用途別売上高概況

[2013年度第2四半期→2013年度第3四半期]

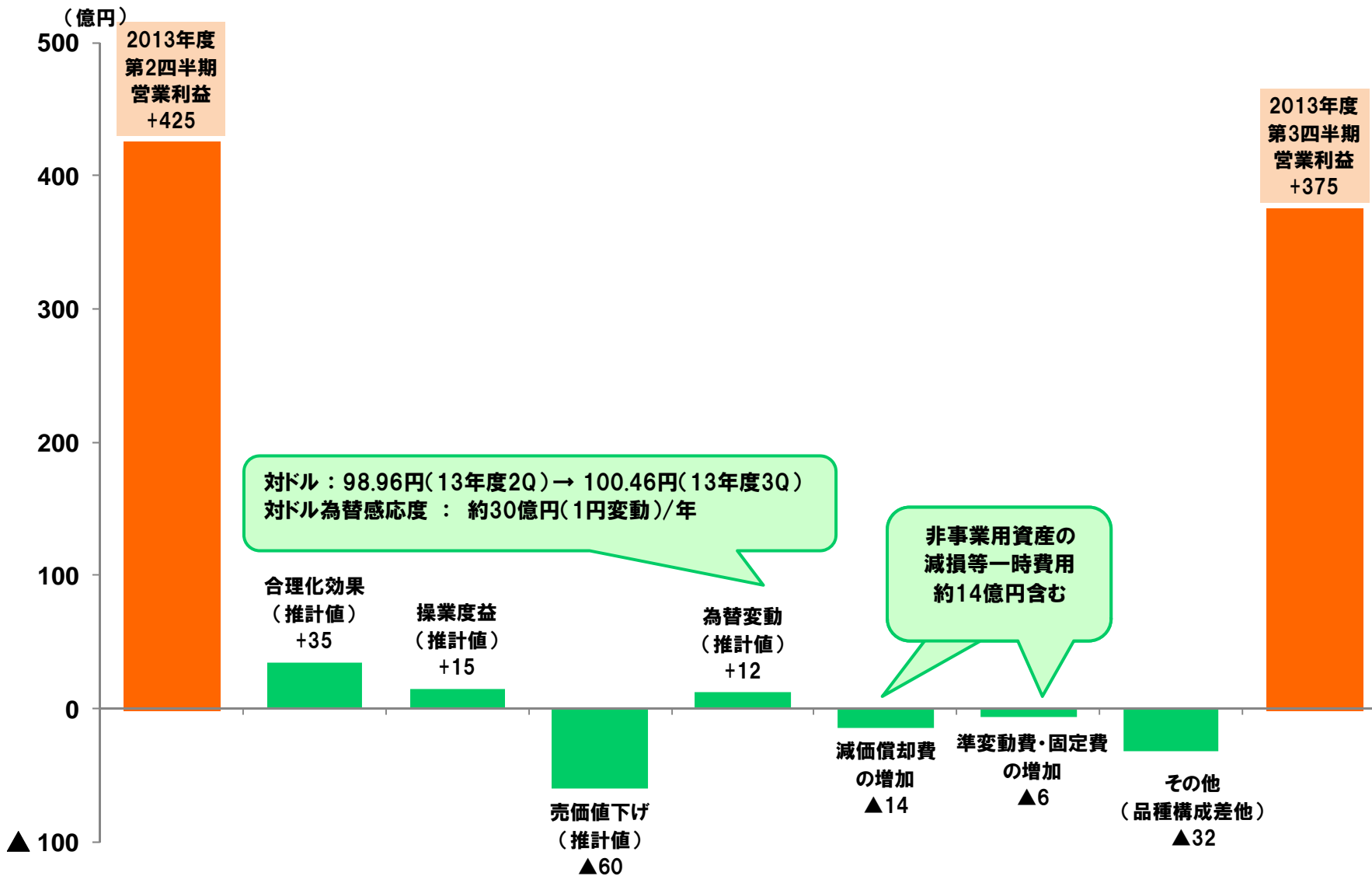


AV (直近四半期比▲4.0%)	<ul style="list-style-type: none">▲近距離無線通信モジュールは、デジタルカメラ向けが大幅に増加も、携帯メディアプレーヤー向けが減少▲ゲーム機向けでMLCCやEMI除去フィルタが減少
通信 (直近四半期比+4.2%)	<ul style="list-style-type: none">○スマートフォン向けでLTE端末の生産増加により、近距離無線通信モジュール、通信機器用モジュール、小型・大容量MLCCなど、幅広い製品で大きく伸長
コンピュータ及び関連機器 (直近四半期比+20.3%)	<ul style="list-style-type: none">○タブレット端末向けで近距離無線通信モジュール、通信機器用モジュール、小型大容量MLCC等が大幅に増加▲ノートPC、MPU向けでMLCCが減少○HDD向けでアクチュエータ、圧電センサ（ショックセンサ）が堅調
カーエレクトロニクス (直近四半期比+4.0%)	<ul style="list-style-type: none">○安全装置（ESC）向けにMEMSセンサが好調○電装化の進展により、MLCCやLTCC基板が伸長

(注) 当社推計値に基づいております

利益変動要因

[2013年度第2四半期→2013年度第3四半期]



2. 2013年度 業績予想 (2013年4月～2014年3月)

2013年度 業績予想



	2012年度 実績		2013年度 通期予想 (10月時予想)				増減	
	金額	構成比	金額	金額	金額	構成比	金額	伸率
	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	6,810	100.0	4,141	4,059	8,200	100.0	+1,390	+20.4
営業利益	586	8.6	674	526	1,200	14.6	+614	+104.7
税引前当期純利益	595	8.7	683	547	1,230	15.0	+635	+106.6
当期純利益	424	6.2	476	384	860	10.5	+436	+102.9

10月公表値の見直しを行っておりません

2013年度（2014年3月期）の配当（予定）

1株当たり年間130円

（中間配当60円/期末配当70円）

※期末配当を従来予想比10円増配

2012年度（2013年3月期）の配当

1株当たり年間100円

（中間配当50円/期末配当50円）

※当配当は現時点での事業環境予測及び業績予想に基づくものであります。

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

